

大腸癌全国登録委員会議事録

日時：2013年7月4(木) 11:00-12:00 (第79回大腸癌研究会)

場所：梅田スカイビル タワーウエスト F会議室

出席者：浅野道雄、加藤知行、小平進、固武健二郎、小山靖夫、斉田芳久、高橋慶一

記録：小澤平太

1. 前回委員会（2013年1月）の議事録が承認された。

2. 報告事項

① 登録作業の進捗状況

2005年治療例(登録施設：65施設)の登録受付を2013年3月に締め切り、報告書(第31号)の作成作業を進めている。

② 登録情報利用申請：なし

③ NCDにおける大腸癌登録

NCDにおける大腸癌全国登録に関わる事項を検討するWGグループを発足し、登録項目を決定した。

3. 討議事項

① NCDにおける大腸癌登録

以下の問題点が指摘され討論した。

- 登録項目数を削減して詳細情報を収集しなくなれば、登録データを解析して規約にフィードバックするという全国登録の本来的な目的が達成できなくなる。
- NCDの運用ルールにより、外部に生データが供与されなければ、従来の情報利用申請システムによる研究支援が破綻する。
- NCDが大腸癌研究会参加施設以外のデータも収集するのであれば、研究会に参加する **leading hospitals** の代表値という登録データの意味合いはなくなる。
- 現行の全国登録と NCD のがん登録を並行して実施する方策を考慮するなど、NCD のがん登録の運用については更なる検討が必要である。

② 次回の登録対象年度について

- 2013年7月から2006年治療例の登録を開始することを決定した。

2005年登録には国がん中央、愛知がんなどの **high volume center** の不参加が目立つ。個々の施設の担当者に対して事務局から督促する必要があること、登録参加施設に対するインセンティブを検討すべきことが指摘された。

文責：小澤平太（栃木県立がんセンター）